

令和3年度障がい者支援施設南富良野からまつ園事業実績報告書

第1 総括

令和3年度、障がい者支援施設南富良野からまつ園は、開設40年を経過し、当法人の基本理念に則った施設運営を念頭にご利用者主体の良質な支援サービスの提供に努めるとともに、地域に開かれた施設として各種事業の推進に努めました。また、ご利用者の高齢による身体的重度化が進み、認知症状など身体介助が必要なご利用者が増加しているなかでは、個別に対応し適切な支援を提供するために職員が統一した共通理解を深め、ご利用者一人ひとりを尊重した支援サービスを行ないました。

また、新型コロナウイルス感染症については、感染リスクを考え迅速な対応を基本とした感染予防対策に努めるとともに、コロナ禍の影響で予定しておりました各種行事やボランティアの受け入れなどには制限を講じた上で、感染防止対策をとり、できる範囲での工夫をした主要行事を実施しました。

さらに、人材確保と職場定着が大きな課題として挙げられることから、各種学校からの学生実習生を積極的に受入れるなど人材確保につながる対応に努めるとともに、在職の職員の定着率向上に着目した職場環境作りにも取り組みました。

なお、このことを受けて、令和3年度の重点事項を次のとおり取り組みました。

1 感染症予防対策と災害等への対応力の強化

新型コロナウイルス感染症対策では、感染対策委員が中心となって、国や道からの通知に沿って随時対応の見直しと確認を行い、決定事項を職員全体に周知することで、職員が危機意識を強く認識したなかで感染対策に取り組みました。徹底した感染予防対策により、インフルエンザやノロウイルスなどの他の感染症の発生予防にも繋がりました。

また、各種災害対応として、コロナ禍の状況のなか、限られた範囲で多種多様な災害を想定したBCPに基づいた訓練を実施し、安全体制の再確認と職員意識の向上に努めました。

2 人権擁護と虐待防止の意識の徹底

人権擁護や虐待防止について、職員個人の日々の業務を振り返るため「サービス向上セルフチェックシート」を定期的実施するとともに更なるサービスの質の向上を図るため研修会を開催しました。身体拘束については、やむを得ず身体拘束行う場合の3要素に係る共通認識に基づいて、個別支援計画の策定とご家族の同意のもとで適切に対応するなど、個人の状況把握や拘束解除に向けての支援に努めました。

3 意思決定支援の推進

意思決定支援ガイドラインや意思決定プロセスについて、全体ミーティングや職員会議等で学びを深め、個別支援計画の策定時には意思決定支援を改めて理解したうえで計画し、職員間で情報共有と連携の強化を図り、ご利用者の立場に立った支援サービスの提供に努めました。日中活動では、ご利用者の状況に応じた支援に取り組み、本人の「個性」や「自主性」を尊重し、ご利用者が楽しみを持って活動ができるように努めました。

4 リスクマネジメントの推進

ご利用者に安心・安全なサービスの提供を進めるために、日々の支援において発生した事故やヒヤリハットは、リスク管理委員が中心となって検証し、全職員にフィードバックを行なうことで、事業所全体でリスクに対する意識の向上と再発防止の取り組みを行ないました。

また、ご利用者の高齢化による身体機能の低下に伴い、転倒・誤嚥等のリスクが増加傾向にあるため、これまでの事例を参考に対策や改善に取り組むなど、リスクマネジメントの強化に努めました。

5 施設の保全管理と補助事業の検討

近年の異常気象による台風や災害などによる大規模停電など自然災害を教訓に、施設運営の安心・安全を確保し、安定的に事業継続ができるために令和3年度社会福祉施設等施設整備費で非常用発電機の設置補助申請を行ない交付されました。なお、設置工事につきましては、令和4年度に実施します。

6 働きがいのある職場づくり

職員間の相互理解を深めるため「報・連・相」の徹底や日常的なコミュニケーションを確保するとともに、人事考課制度を活用した職員との個別面談を実施し意見を聞きながら働きがいのある職場づくりに努めました。また、業務の効率化や時間外労働の縮減を目指し、有給休暇の取得向上にも努めました。

7 法人設立・開設40周年記念行事の開催

法人設立及びびからまつ園開設40年を迎え、新型コロナウイルス感染症対策を講じたなかで記念式典を開催し、「創設40周年記念誌～悠久の歩～」を発刊しました。

第2 運営組織（令和4年3月31日現在）

1 職員配置状況（令和4年3月31日現在）

区分	園長	総務部	支援部	短時間	計
男性	1	4	25	2	32
女性		3	12	14	29
計	1	7	37	16	61

第3 ご利用者の状況（令和4年3月31日現在）

1 各ユニットの男女別状況

区分	もりのまち	ほしのまち	はなのまち	にじのまち	計
男性	24	35			59
女性			19	18	37
計	24	35	19	18	96

2 年齢別

区分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高年齢	最小年齢	平均年齢
男性	1	3	8	20	17	3	7	81歳	18歳	48.9歳
女性	0	1	7	9	6	6	8	86歳	26歳	54.5歳
計	1	4	15	29	23	9	15			51.1歳

3 障がい別

区分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	ダウン症	身体 障がい	視覚 障がい	聴覚 障がい	内部疾患	言語 障がい	強度行動 障がい
男性	14	23	0	5	4	1	4	5	2	27
女性	12	7	2	2	6	0	1	3	4	16
計	26	30	2	7	10	1	5	8	6	43

4 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	0	0	6	17	36	59	5.51
女性	0	0	0	2	9	26	37	5.65
計	0	0	0	8	26	62	96	5.56

第4 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

ご利用者が快適な環境のもとで、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護等や創作的活動、生産活動の機会を提供しました。

(2) 施設入所支援事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

施設入所者に対し、主として夜間において入浴、排せつ、食事の介護、生活等の相談及び助言、その他必要な日常生活の支援に努めました。

(3) その他の事業

相談支援事業 (計画相談)	相談支援事業所ふらっぷにおいて、障がい者のある方からの就労や生活全般にかかる相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用、権利擁護のために必要な援助を行いました。
------------------	--

2 運営方針の内容

(1) 総務部・総務課

適正な財務管理を実施し、ご利用者の生活環境及び職員の労働環境向上を図るとともに、感染症及び災害等に対する体制を強化し、安全・安心な施設経営を推進に努めました。

財務状況把握及び経営基盤の強化	法人直轄の事業所であることを認識し、定期的な在庫管理や計画的な予算執行を進めるため、他事業所も含めた収支状況や経営意識の共有化、醸成に努め、財務体質の強化を図りました。
中長期計画の遂行	明確な将来的ビジョンのもとで、環境や時代の変化に適応した地域活動や経営理念に基づく事業運営を継続的且つ計画的に進めるため、現在進行している中長期計画の遂行、見直しを行いました。

人材確保・定着	法人独自のキャリアパス、育児休暇制度等を浸透させ、職員の定着率の向上を図りました。また、求人活動やオンラインによる説明会等を積極的に活用するなど、新規採用職員の確保に努めました。
公益的な取り組みとしての地域貢献	地域における福祉的ニーズに対し、設備、専門性を活用し、各関係機関と連携・協力し、地域の福祉課題や生活課題の解決に努めました。また、地域での総合教育や福祉専門職養成等に関して主体的且つ積極的に取り組みました。
安心・安全な食事の提供	委託業者と連携し、衛生管理の向上と感染症対策の徹底を図るとともに、個々の嗜好に合った給食を提供する他、食器、盛りつけを工夫し、楽しく、和やかな雰囲気の中での食事サービスを提供しました。また、非常時に安全面・衛生面に支障なく、常時3日分以上の食事サービスを提供できるよう計画的に非常食の管理を進めました。
I C T 機器導入の推進	業務の生産性及び効率化と、スリム化を図ることでの就業環境の改善を目的に、ご利用者自身の負担やリスクの軽減と安全な福祉サービスを提供するための、I C T 機器の導入等について検討しました。
適切な栄養管理と食事環境の向上	栄養マネジメントを強化し、ご利用者の年齢、体重、生活活動強度を基に、栄養バランス、食事量を配慮した献立を作成することで、適正な栄養管理と健康維持、増進に努めました。また、過剰摂取や肥満傾向、食事拒否等がみられるご利用者に対しては、運動量との関連性を考慮しながら体力の維持が図られるよう努めました。
職員の健康管理	産業医との連携のもと、健康診断や生活習慣病予防検診の他、職員の心理的負担の程度を把握するためのストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルス対策に講じました。また、福利厚生によって活気ある職場づくりに努めました。
施設等の保全管理	新園舎建設及び旧園舎の改築から10年目を迎えることから、危機管理や住環境整備のための修繕・改修を計画的に行うとともに、施設備品の破損等には迅速に対応し、ご利用者の生活環境の保全管理に努めました。また、中長期計画に基づき、年次計画での施設整備を実施し、安全で質の高いサービスを提供しました。
防災・防犯対策の整備	事故や災害等に対するご利用者及び職員の認識を深め、応急処置講習や避難・救出等の訓練を定期的に行いました。また、災害の未然防止対策や災害発生時に適格な対応ができるよう、各種マニュアルの充実化を図るとともに、職員間の連絡体制を強化するなど、防災対策の整備及び体制の構築に努めました。

(2) 生活支援部・生活支援課

障がいの多様化に応える為、個々のニーズや特性に適した支援をより一層充実して提供していくため、生活支援課内の協力体制を図り、支援の向上に努めました。

個別支援計画の充実	個別支援計画に基づき、ご利用者が日常生活において適切な生活習慣の確立と社会生活への適応性を高められるように日常のあらゆる機会を捉えて支援サービスを実施しました。また、他職種によるケース会議やモニタリングを実施し、状況に応じた支援内容の見直しや変更を進め、個別支援の充実を図りました。
-----------	---

支援・介護技術の向上	<p>専門職員としての役割を自覚し、絶えず自己研鑽と創意工夫を重ね、ご利用者の個別ニーズと希望に対応できる支援・介護技術の向上に努めました。また、外部研修に参加後の伝達研修の実施や有資格者による専門分野の内部研修を開催するなど職員の資質向上を図りました。</p>
日中活動・余暇支援の充実	<p>ご利用者1人ひとりが、一年を通して楽しく充実した生活が過ごせるよう、各ユニットと活動支援課が連携し、障害特性など考慮したうえで活動の計画と実施に努めました。また、ご利用者の重度・高齢化に伴う、身体および認知機能の低下を予防するため、個別活動も実施し、残存機能の維持・増進に努めました。</p>
権利擁護と虐待防止の徹底	<p>ご利用者の意思決定を尊重し、障害特性によって意思疎通が困難な方にも多様な意思疎通の方法を活用するなど合理的配慮に努めました。また、虐待に対する意識を深めるために、朝・夕礼時に虐待防止に関する読み合わせや職員会議等での周知や研修会を定期的に行いました。</p>
健康増進と感染予防	<p>新型コロナウイルス等、感染症の脅威からご利用者を守るため、感染予防に対する意識の強化を図るとともに、協力医療機関と連携して健康状況の把握、ご利用者の体力維持・向上に努めました。また、感染症対策状況を考慮しながら、定期健康診断および各種検診等を実施し、ワクチンについても安全かつスムーズに接種できるよう関係機関と調整しました。</p>
自治会活動の活性化	<p>ご利用者主体のサービス提供の実現に向けてあおぞらの会および利用者生活委員会のサポートを行いました。多くのご利用者や職員が意見交換できるように懇談会やご利用者自身がサービスを評価できる機会を設け、日中活動の内容や行事、タイムスケジュール等ご利用者の意見を反映することで、QOL向上につなげました。</p>
職員の資質と専門性の向上	<p>虐待防止、意思決定支援、事故等のリスクマネジメントを意識し、専門性の高い支援を実践するため、各業務内容等の見直しや改善を進めました。また、職員の自己啓発と資格取得、研修の機会の確保など、職員育成を進めるとともに、階層別の研修内容を企画し、専門性の向上に努めました。</p>
食事環境の充実	<p>行動障がい、身体機能の低下や認知症状に配慮し、嗜好調査等を参考に、偏食や行動の特性を考え、おいしさ、楽しさ、食べやすさ等につながるよう、提供場所や食事の形態、摂取カロリー量も含めて改善に努めました。</p>
自立に向けた支援の推進	<p>障がい程度に応じて、可能な限り地域生活に移行できるよう、社会自立の観点から意思決定支援の充実を図りました。また、「ふらっぷ」での自立生活体験やなんぷ〜香房やグループホームの見学などを行い、地域移行に向けて自己選択できる環境と機会を提供しました。</p>
生活環境の改善	<p>行動障がい、身体機能の低下や認知症状に配慮し、ご利用者に合理的配慮が講じられるように、潜在的ニーズの把握や意思決定支援を推進し、個々に適した住環境の整備に努めました。また、より安全で安心して暮らしていくため、感染症下でご利用者のニーズに迅速に対応するため、出張販売やインターネット通販の利用を推進しました。</p>

感染症予防対策と災害への対応	一昨年の新型コロナウイルス施設内感染の教訓を活かし、感染症の予防と対応力を高めるため、職員やご利用者への周知及び研修を実施し、感染症発生時の必要物品、災害発生時の備蓄品を確保すると共に、各種BCPの作成、改正等による対応策の強化を図りました。
I C T化の活用	各ユニット単位での情報共有の強化と、全体での共通認識を図るため、I C Tの導入や電子媒体の活用に向けて施設内のW i - F i環境の整備や多機能型離床センサーの導入について検討しました。また、交代勤務下においてもスムーズに職員間で連携と意思統一が図れるように、積極的にオンライン会議やS N Sを活用し、労働生産性の向上に努めました。
S N Sを活用した広報活動の推進	新型コロナウイルス感染症における新生活様式での施設の取り組みやご利用者の様子などを広くP Rするため、ホームページや定期的に広報誌を発行するなど幅広く情報提供を行い、ご利用者の入所希望や職員の就職にも興味・関心がつながるように努めました。
学生実習・ボランティアの受け入れ	学生実習やボランティアを感染症に配慮しながら、積極的に受け入れ、福祉人材の育成と障がい福祉への興味・関心の向上を図り、感染症下での学生実習のニーズを応じたカリキュラムの充実に努めました。
40周年記念事業との連携	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、法人設立・施設開設記念事業及び各種関連行事を実施しました。

①生活介護事業

ご利用者一人ひとりに適した支援サービスの提供をするため、ご本人及びご家族の意向に基づいて生活介護サービスの内容を設定し、安心と安全につなげる各種サービスと活動プログラム等を提供しました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活および社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、排泄、入浴、移動、整容、歯磨き、衛生、服薬、居室内清掃、衣類整理、相談、情緒の安定等を実施しました。
居住環境の整備	衛生的な環境提供に努め、安全に生活できる物品の配置や必要な備品の整備を図りました。
定期巡回	体調確認、行事連絡、感染症情報、時事的な話題提供を実施しました。
行動障がい者への支援	施設の生活環境と施設外での行動を予測した場面での情緒の安定につながる構造化と視覚的な提示を個別に合うよう支援を提供しました。
高齢者への支援	身体機能や認知機能が低下したご利用者に医療機関と連携して、個々に応じたADLの低下予防を含めた活動提供等の支援・介護等を実施しました。
健康状況の把握	ADLや運動機能の他、バイタルサイン（検温・血圧、呼吸機能）、体重、口腔、皮膚、精神状態などをし、定期的なデータ収集を用いて、体調の変化や異常の把握に努めました。

◇活動支援課◇

個々のニーズや特性に応じた日中活動を提供し、健康維持・増進を図り、生きがいを感じられるサービス提供を支援しました。

活動支援第1係

創作活動	創作活動	各種行事、みんな・あーと、オンライン芸術展に応募し、各種施設内外のアート展に向けた作品制作を提供しました。
	演芸活動	ご利用者の興味や適性に合わせたダンスやカラオケなど、様々な活動を提供し、施設内外で披露しました。
療育活動	スヌーズレン	心地良い感覚刺激につながる各種ブースを設置し、リラックス効果等を得ることで、情緒の安定を図りました。
	療育活動	認識度合いに応じた設定と構造化による作業手順の構築を行いました。
	創作活動	各種行事、施設内外の展示会に向け創作品を作り、創作意欲向上を図りました。

活動支援第2係

生産活動	屋外活動	花壇整備、施設周囲の環境整備、除雪、こざくら園の農産補助作業等を実施しました。
	屋内活動	食器洗い、食堂・洗面所清掃、施設内清掃、ゴミ出し等を実施しました。
元氣班	健康維持・増進活動	屋外においてレクリエーションや歩行機能訓練、散歩散策、日光浴など、ご利用者の体力保持や健康増進に努めました。
	生きがい活動	カラオケ、パズル、編み物、ビーズ通し、音楽鑑賞・演奏活動、ボールペン組立、個別活動（カルタ、トランプ、釣りゲーム、園芸、家庭菜園、シャボン玉等）を通し、ADL、IADLの維持向上を図りました。

◇健康支援課◇

医療機関との連携し、疾病の早期発見・早期治療に努め、心身共に健康で豊かな生活が送れるように支援しました。

健康管理	健康管理全般、医療的な処置、薬剤管理
通院支援	各診療科目における定期通院、必要に応じた通院、往診介助
検診支援	歯科検診、定期健康診断、胃がん検診、婦人科検診
感染予防対策	新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策と予防接種等

◇地域企画調整科◇

ご利用者の地域生活移行に向け、情報提供や社会生活が体験できる機会を提供するなど自立支援の促進に努めました。また、季節や個々のニーズに応じた余暇活動や行事を新型コロナウイルスの感染予防対策を講じて企画し、日常に潤いのある生活を提供しました。

施設外訓練	一般事業所での施設外訓練者に対する各事業所への訪問や個別面談を行い、ご利用者の就労スキルの向上とニーズの把握に努めました。
施設内訓練	日常の面談等を通して希望するご利用者を中心に、施設内で取り組める清掃等の訓練を行うことで、自立意識の向上に努めました。
法人・3事業所 合同イベント	新型コロナウイルス感染症対策により、ふれあいフェスタは中止となりましたが、スポ・レク交流会、花火大会については、規模を縮小するなど感染対策を講じながら実施しました。
町内イベント	新型コロナウイルス感染症対策により、湖水まつり、神社祭等の町内で開催される行事が規模縮小や観覧中止となりました。
余暇活動	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、ドライブや外出、映画鑑賞会、お菓子づくり等を企画し、ご利用者に季節の変化や潤いを感じられる活動を提供しました。
地域生活移行支援	個別支援計画書に基づき、自立訓練ホーム「ふらっぷ」を活用して生活体験を実施しました。また、様々な機会として料理教室や避難訓練、なんぷ〜香房やGHの見学等、地域移行への意識向上に努めました。
その他	障がい者週間記念事業を法人内部で企画・立案し、映画鑑賞会やご利用者・職員それぞれに虐待防止研修会を実施しました。また、町内各事業所へのポスターの掲示、作品展示等、啓蒙活動に努めました。

◇ご利用者自治会の支援（あおぞらの会）◇

利用者生活委員会を実施し、ご利用者の考えを大切にしながら、ご利用者の行事などの意見の収集を行い、主体的に各種事業や計画立案等の活動ができるように支援します。

利用者生活委員会	利用者生活委員会議において、意見交換やサービス評価を行い、その内容を職員に周知します。
事業計画の立案	事業計画の立案、実施に関するサポート（総会、クリーン作戦、クリスマス会、権利擁護研修会、感染予防研修会、防犯教室等）
情報提供	ポスター・資料づくり
自動販売機の運営	清涼飲料水の販売
総会・役員会の開催	総会・役員会の準備、運営
誕生会の協力	誕生会プレゼントの助成
施設内清掃活動	清掃チェック、大掃除の協力
施設外清掃活動	地域でのクリーン作戦
地域奉仕活動	除雪ボランティアへの参加、リングプルの回収

◇家族会の支援（家族会事務局）◇

家族会与連携し、家族会事業の円滑な運営が推進できるようにサポートしました。会員相互の親睦を図り、総会、研修会、情報交換会等の企画や運営について協議しました。役員会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、南富良野町保健福祉センター「みなくる」にて開催いたしました。総会は感染状況を考慮して書面決議といたしました。

②施設入所支援事業

主に夜間において、入浴、排泄、食事等の支援、生活等に関する相談及び助言、その他随時日常生活上の支援を実施しました。

日常生活での支援	起床、就寝、睡眠、更衣、食事、排泄、歯磨き、衛生、服薬、相談、情緒の安定等を図りました。
ホームルーム	体調確認、行事連絡、話題提供、地域情報提供、感染症情報提供
就寝前支援	寝具確認、トイレ誘導、おむつ交換、体調確認
定期巡回	館内の安全確認、見守り、健康確認
行動障がい者への支援	施設の生活環境と施設外での行動を予測した場面での情緒の安定につながる構造化と視覚認識の提示を進め、個別支援を提供しました。
高齢者への支援	身体機能や認知機能が低下したご利用者に医療機関と連携して、個々に応じた食事、就寝、活動提供等の支援・介護・見守りを実施しました。
健康状況の把握	食事、排泄、睡眠、運動機能の他バイタルサイン（検温・血圧、呼吸機能）、体重、口腔、皮膚、精神状態などをし、定期的なデータ収集を用いて、体調の変化や異常の把握に努めました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
北海道社会福祉協議会	園長・支援員	5人
日本・北海道知的障害福祉協会	園長・支援員	5人
北・北海道知的福祉協会	園長・支援員	4人
その他	支援員	13人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	延参加職員
新任者研修	合同研修 1回 (5月) からまつ園内部研修会 3回 (4月、5月、6月)	令和2～3年度採用職員
内部研修会	合同研修 3回 (7月、9月、2月) からまつ園内部研修 5回 6月、7月、9月、11月、2月)	88名 その他
階層別研修	3回 (4月、8月、12月)	38名(全職員対象・階層別)

4 年間行事実績

令和3年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。

令和3年度 主要事業等報告書

月	日	期 間	内 容
4月	1日(木)		辞令交付式
	10日(土)		緑陽台歯科検診
	17日(土)		家族会役員会
	19日(月)		産業医訪問
	22日(木)		あおぞらの会総会 障がい者虐待防止法学習会(ご利用者向け)
	23日(金)		南富良野町PCRスクリーニング検査 職員緊急招集訓練
	25日(日)		理容日
	27日(火)		ご利用者・職員前期健康診断
	28日(水)		誕生会
5月	4日(火)・ 6日(木)	2日間	春のドライブ外出(富良野市東大演習林他)
	6日(木)		後藤義美さん退所
	11日(火)		あおぞらの会お楽しみ会 お楽しみグルメ企画(手作りどら焼き提供)
	17日(月)		産業医訪問
	17日(月)・ 20日(木)・ 21日(金)	3日間	南富良野町PCRスクリーニング検査
	20日(木)		法人監事決算監査
	23日(日)・ 25日(火)・ 27日(木)	3日間	ご利用者・職員新型コロナウイルスワクチン接種(1回目)
	26日(水)		誕生会
	27日(木)		末永克子さん退所
6月	1日(火)		工藤正美さん入所
	10日(木)		第1回理事会
	13日(日)・ 15日(火)・ 17日(木)	3日間	ご利用者・職員新型コロナウイルスワクチン接種(2回目)
	16日(火)		誕生会
	25日(金)		定時評議員会 第2回理事会
	29日(火)		昼食会(焼肉等提供)
7月	2日(金) ～16日(金)	15日間	上山和音支援員富良野協会病院入院
	3日(土)		第40回スポ・レク交流会
	5日(月)		南富良野中学校2年生総合学習(オンライン)
	12日(月) ～16日(金)	5日間	経専保育専門学校こども学科1年生保育実習受入(1名)
	13日(火)		町外外出①(富良野方面)
	14日(水)		バイキングメニュー
	15日(木)		町外外出②(富良野方面)
	17日(土)		南富良野大乗会・南富良野からまつ園創設40周年記念式典
	18日(日)		法人事業所見学会
	20日(火)		町外外出③(帯広方面)
	26日(月)・ 27日(火)・ 29日(木)	3日間	南富良野町PCRスクリーニング検査

月	日	期 間	内 容
7月	26日(月)	13日間	板谷勉さん富良野協会病院入院
～ 8月	7日(土)		
	27日(火)		ふらの三番館出張販売
	28日(水)		町外外出④(帯広方面)
	29日(木)		誕生会 障がい関係事業所合同防犯研修会
	29日(木)	20日間	斗内正克さん富良野北の峰病院入院
～ 8月	17日(火)		
	30日(金)		法人内部研修会(虐待防止研修)
	30日(金)	15日間	武藤憲男さん旭川くにもと病院入院
～ 8月	13日(金)		
8月	3日(火)		町外外出⑤(帯広方面)
	7日(土)	6日間	山田さとみさん富良野協会病院入院
～	12日(木)		
	9日(月)	7日間	映画上映会
～	15日(日)		
	10日(火)	2日間	法人定例監査
	11日(水)		
	16日(月)	32日間	名寄市立大学社会福祉学科3年SW実習受入(3名)
～ 9月	16日(木)		
	17日(火)		町外外出⑥(富良野方面)
	19日(木)		夏のお楽しみ会(スイカ割り、へそ踊り等)
	20日(金)		障がい関係事業所合同花火大会
	23日(月)		からまつ園・こざくら園合同総合火災訓練
	24日(火)		加藤英剛さん退所 誕生会
	24日(火)	2日間	サマーフェスタ(水遊び、映像鑑賞等)
	26日(木)		
	26日(木)		町外外出⑦(富良野方面)
	27日(金)	4日間	南富良野町PCRスクリーニング検査
～	30日(月)		
	28日(土)	2日間	パブリックビューイング(パラリンピック観戦)
～	29日(日)		
	30日(月)		障がい関係事業所合同水害想定災害訓練 法人内部研修会(接遇マナー研修)
	31日(火)		駄菓子屋からまつ(お菓子、トロピカルジュース等提供)
9月	6日(月)		産業医訪問
	14日(火)		秋祭り(ポテトフライ、お好み焼き等提供)
	15日(水)		ご利用者・胃癌健診
	18日(土)	75日間	斗内正克さん富良野北の峰病院入院
～ 12月	1日(水)		
	20日(月)	5日間	札幌スポーツ&メディカル専門学校3年生実習受入(1名)
～	24日(金)		
	21日(火)		誕生会
	24日(金)		普通救命講習会 からまつ園内部研修会(感染予防研修)
	24日(金)	4日間	南富良野町PCRスクリーニング検査
～	27日(月)		
	28日(火)		第3回理事会
	30日(木)		法人内部研修会(人事考課研修)
10月	1日(金)	2日間	ご利用者道内旅行①(道南方面)
	～ 2日(土)		

月	日	期 間	内 容
10月	4日(月)		産業医事業所巡回
	6日(水)		大矢トミ子さん退所
	10日(日) ～ 11日(月)	2日間	ご利用者道内旅行②(道南方面)
	12日(火)		日帰りドライブ旅行①(富良野方面)
	14日(木)		地震想定行動訓練 非常食炊出訓練
	19日(火)		ふらっぷ火災想定避難訓練 自活訓練(調理実習) 内部研修会(ゾーニング講習会)
	20日(水)		板谷勉さん富良野協会病院退院(9/28～・23日間) 内部研修会(先輩職員座談会)
	21日(木)		日帰りドライブ旅行②(富良野方面)
	23日(土) ～ 25日(月)	3日間	PCRスクリーニング検査
	25日(月) 29日(金)	2日間	ご利用者、職員インフルエンザ予防接種
	25日(月) ～ 11月 6日(土)	13日間	旭川大学短期大学部幼児教育学科1年生保育実習受入(2名)
	26日(火)		富良野保健所感染予防対策研修会講師派遣(宮森施設長) ハロウィンパーティー 誕生会
	26日(火) ～ 11月19日(金)	24日間	安井和夫さん富良野協会病院入院
	27日(水) ～ 11月 4日(木)	8日間	山田さとみさん旭川医科大学病院入院
	28日(木)		日帰りドライブ旅行③(富良野方面) 法人内部研修会(新任職員フォローアップ研修)
	31日(日)		衆議院選挙投票(10/25より期日前投票)
11月	1日(月)		40周年記念食事会
	2日(火)		ふらの三番館出張販売
	4日(木)		日帰りドライブ旅行④(富良野方面)
	8日(月) ～ 20日(土)	13日間	旭川福祉専門学校こども学科1年生保育実習受入(2名)
	11日(木)		日帰りドライブ旅行⑤(富良野方面)
	16日(火)		ご利用者乳癌、子宮がん検診 日帰りドライブ旅行⑥(富良野方面)
	18日(木)		あおぞらの会・秋のお楽しみ会
	25日(木)		誕生会
	26日(金)		日本知的障がい福祉協会互助会・虐待防止、権利擁護研修
	27日(土) ～ 29日(月)	3日間	PCRスクリーニング検査
	29日(月)		産業医事業所巡回
	3日(金)		障がい者週間記念事業・表敬訪問
	7日(火)		障がい者週間記念事業・ご利用者権利擁護勉強会、映画鑑賞会
	10日(金)		自活訓練(なんぷ～香房見学、ふらっぷ体験等)
	13日(月)		法人内部研修会(ハラスメント研修)
	13日(月) ～ 15日(水)	3日間	職員インフルエンザ予防接種
	14日(火)		クリスマスバイキング
	16日(木)		雪害停電訓練

月	日	期 間	内 容
12月	18日(土) ～20日(月)	3日間	PCRスクリーニング検査
	23日(木)		クリスマスお楽しみ会 第4回理事会
	24日(金)		誕生会
	30日(木)		ユニット対抗お楽しみ会 西村みづき支援員退職
	31日(金)		大晦日交流会
1月	1日(土)		新年交流会
	4日(火)		新年映画鑑賞会
	13日(木)		板谷勉さん退所
	14日(金)		すずらんの会オンライン交流会
	18日(火)		誕生会 女性ご利用者・スポーツの日
	20日(木)		新春お楽しみ会
	22日(土) ～24日(月)	3日間	PCRスクリーニング検査
	25日(火)		昼食会(トルティーヤ)
	25日(火) 27日(木) 2月1日(火) 3日(木)	4日間	ご利用者・職員新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)
	31日(月) ～2月10日(木)	11日間	拓殖大学北海道短期大学保育学科1年生保育実習受入(2名)
2月	3日(木)		節分豆まき
	15日(火)		男性ご利用者・スポーツの日
	17日(木)		法人研究発表会
	22日(火)		誕生会
	25日(金)		第5回理事会
	28日(月) ～3月14日(月)	15日間	馬場雅人さん北の峰病院入院
	28日(月) ～3月10日(木)	11日間	拓殖大学北海道短期大学保育学科1年生保育実習受入(4名)
3月	1日(火)		鈴木真弓支援員入職
	2日(水)		町内除雪ボランティア従事
	3日(木)		桃の節句を祝う会(甘酒等提供)
	7日(月)		法人定例監査
	10日(木)		ふらっぷ自活訓練・避難訓練
	15日(火) ～16日(水)	2日間	昼食会フードコート(ちゃんぽん、牛丼等提供)
	17日(木)		石川翔梧さん入所 法人内部研修会(コンプライアンス研修)
	22日(火)		第6回理事会
	23日(水)		高橋裕美さん入所
	24日(木)		誕生会
	29日(火)～		馬場雅人さん北の峰病院入院
	30日(水)		第2回評議員会
	31日(木)		退職者辞令交付 吉田一樹主任支援員、福地彩子主任支援員、木下大樹支援員、 阿部翔吾支援員、田中純大支援員、阿部希望支援員 退職